

レマゲン鉄橋 (1969)

THE BRIDGE AT REMAGEN

メディア 映画

ジャンル 戦争 アクション

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 116分

初公開日 1970/03/21

公開情報 U A

【キャッチコピー】

ラインに残る最後の橋をめざして5万の独軍とアメリカ第27装甲大隊が迫る！

【解説】

連合軍の進撃を食い止めるべくナチス・ドイツ軍はライン河に架かる最後の橋の爆破を決定するが、現地の指揮官は避難のため直前まで爆破を延期。レマゲン鉄橋をはさんで両軍の一大攻防戦が始まった。渋いキャストによる魅力的なキャラクターを活かしきれなかったドラマ部分の弱さは残るが、冒頭からクライマックスまで続く戦闘シーンの迫力は戦争アクション映画ファンならずとも一見の価値あり。本物の戦車・建物・橋を使って撮影された戦闘シーンはそれだけでも十分な見せ場となっているが、計算されたアングルやカメラワークによってとてつもない臨場感を伴って迫る。光学合成などのSFXでは得られない、真の“戦争スペクタクル”がここにある。後に空前の大作「タワーリング・インフェルノ」をまかされたJ・ギラーミンの実力がいかに発揮された。

第二次大戦末期、米軍の歩兵大隊はドイツ進攻を果たすため、ライン河に架かる最後の橋であるレマゲン鉄橋に向かっていった。そこで、ハートマン中尉を隊長とする小隊が先頭に立ち、敵の防御網突破を図る。これに対し、迎え撃つドイツ軍のクルーガー少佐は、橋を爆破せんと爆薬を仕掛けるのだった。そして、間もなく激しい攻防戦が開始。ハートマンらは爆薬の解除に奔走する。やがて、戦況はアメリカ優位の展開となり、ドイツ軍は追いつめられていくが…。

【クレジット】

監督	ジョン・ギラーミン	John Guillermin	
製作	デヴィッド・L・ウォルパー	David L. Wolper	
脚本	ウィリアム・ロバーツ	William Roberts	
	リチャード・イエーツ	Richard Yates	
	ロジャー・ハーソン	Roger Hirson	
撮影	スタンリー・コルテス	Stanley Cortez	
音楽	エルマー・バーンスタイン	Elmer Bernstein	
出演	ジョージ・シーガル	George Segal	フィル・ハートマン中尉
	ロバート・ヴォーン	Robert Vaughn	クルーガー少佐
	ベン・ギャザラ	Ben Gazzara	アンジェロ軍曹
	ブラッドフォード・ディルマン	Bradford Dillman	バーンズ少佐
	E・G・マーシャル	E.G. Marshall	シンナー准将
	ペーター・ヴァン・アイク	Peter Van Eyck	フォン・ブロック將軍
	ボ・ホプキンス	Bo Hopkins	グレブス
	マット・クラーク	Matt Clark	ジェリコー
	フリッツ・フォード	Fritz Ford	デント

ハンス・クリスチャン・ブレヒ	Hans Christian Blech	シュミット大尉
ヨアヒム・ハンセン	Joachim Hansen	オットー・ポーマン大尉
ロバート・F・ローガン	Robert F. Logan	ビッセル
ハインツ・ラインケ	Heinz Reincke	ホルツガング
ソニア・ツィーマン	Sonja Ziemann	グレタ・ホルツガング
アンナ・ガエル	Anna Gael	
ヴィート・オルメール	Vit Olmer	
スティーヴ・サンダー	Steve Sandor	